

令和3年7月30日
参考資料

経済産業省 ヘルスケアサービス社会実装事業に採択

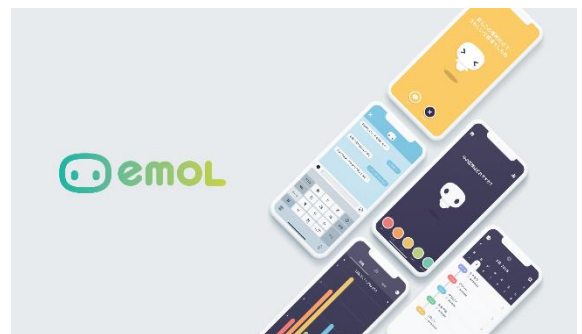
神奈川 ME-BYO リビングラボの事前面談を実施した事業が採択されました！

神奈川県では、県民の意識・行動変容を促進し、地域等の健康課題解決につながる未病関連商品・サービスの実証事業を支援する「神奈川 ME-BYO リビングラボ(以下、リビングラボ)」を運営しています。

このたび、昨年度からリビングラボの実施に向けて事前面談^{※1}を実施していた次の事業が、経済産業省令和3年度ヘルスケアサービス社会実装事業費補助金(地域や職域の課題に応えるビジネスモデル確立に向けた実証事業)^{※2}に採択されましたので、お知らせします。

1 採択事業の概要

- (1)代表団体:emol 株式会社
- (2)事業名: セルフケア AI アプリ「emol」を活用した産後メンタルケアによる心理的フレイル改善事業
- (3)実施予定地域: 神奈川県(市町村)



2 今後の予定

本事業は、令和3年度秋を目途に、リビングラボを活用し、他の地域へ展開可能な社会実装モデルを創出して、県内市町村等を実証フィールドに実証事業を行う予定です。

新型コロナウイルス感染拡大中においても、県民が主体的に未病改善に取り組めるソリューションであり、社会実装が期待されます。

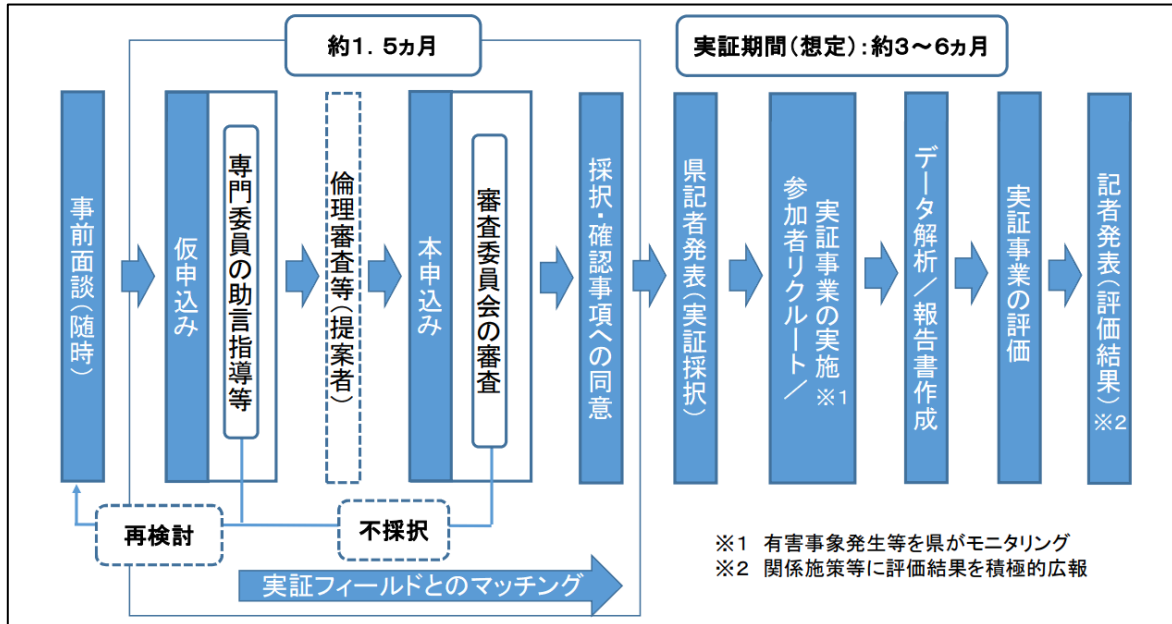
(※1)神奈川県が、未病産業研究会会員企業等から相談を受け、地域や職域の健康課題を踏まえ、未病関連商品・サービスの社会実装モデルの構築や、実証事業の内容等に関してアドバイスを実施。

(※2)経済産業省が、地域版次世代ヘルスケア産業協議会*や関係者等を通じ、民間企業や自治体、医療・介護関係者等が連携することで、地域や職域の健康課題の解決を踏まえたヘルスケアサービスの創出を目指す事業を対象に補助を行う事業。

* 地域のヘルスケア関係者(自治体、医療・介護機関／関連団体、大学、金融機関、民間事業者など)が連携したコンソーシアムとして、①地域発の新しいヘルスケアサービスの創出、②地域内外のヘルスケア事業者に実証フィールドを提供し、併せて地域住民がその効果を楽しむ

ることができる体制の整備などを実施するために設置するもの（神奈川県は「未病産業研究会」として設置）。

【神奈川ME-BYOリビングラボ】



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/cnt/f536534/index.html>

問合せ先

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室
未病産業担当課長 長澤 電話 045-285-0156
未病産業グループ 浅井 電話 045-210-2715